



認知症について考えよう 〜地域包括支援センターだより〜

認知症は、誰にでも起こりうる身近な病気です。「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」そんな当たり前の願いを実現するために、私たち一人ひとりが認知症につ

いて正しく理解し、温かく見守る「地域づくり」の輪を広げていきましよう。

問い合わせ先

役場介護環境課地域包括係
☎(86) 1153「直通」

認知症月間

国では、認知症に対する理解を深め、人と家族を支える社会づくりを推進するため、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定め、全国で普及啓発活動を行っています。

長島町では、9月の認知症月間を中心に、認知症に関する普及啓発活動を実施しています。



認知症に やさしい地域 を目指して

地域のつながりが、認知症の人にとっても、私たちにとっても、一番の安心になります。
「何か困っているかな？」と気づくこと、それだけで十分な支援の第一歩です。
認知症になっても安心して暮らせる「やさしいまちづくり」を、これからも一緒に進めていきましょう。

地域の輪を広げる「認知症サポーター講座」

認知症の人を温かく見守り、支援する応援者「認知症サポーター」は、令和8年度も町内の小中学校や依頼を受けた地域サロンなどで養成講座を積極的に開催しています。

【小中学校での開催】

次世代を担う子どもたちが、認知症について正しく学び、高齢者にやさしい声かけができるよう、学校での講座に力を入れています。



【地域のサロン・コミュニティでの開催】

公民館や地域のサロンなどからの依頼を受け、皆さんが集まる場へ伺っています。身近な場所で、仲間と一緒に認知症への理解を深める貴重な機会となっています。

講座受講者には、サポーターの証として「オレンジリング」を渡しています。ぜひ、皆さんの周りでも認知症について考えるきっかけをつくってみませんか。



式が成り立つように□に数字を書きましょう。

- ① $4 + 8 + 5 = 9 + 2 + \square$
- ② $2 + 2 + \square = 3 + 8$
- ③ $20 - 9 = 4 + 1 + \square$
- ④ $10 + \square - 1 = 20 - 4$
- ⑤ $5 + 9 + 6 = 7 + 8 + \square$

「人生会議」とは

急な病気や事故は誰にでも起こり得ます。ACPがあれば、意思を伝えられない状況でも希望に沿ったケアが選ばれます。備えは、安心につながります。

